

国立大学法人京都教育大学学長候補者選考基準

令和元年7月26日

国立大学法人京都教育大学

学長選考会議決定

京都教育大学は、京都の長い歴史と伝統、豊かな文化を土壌に、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることをめざす。そして、深い研究を通じた質の高い教育を為すとともに、教育に関する新しい知の創造と実践によって地域及び国際社会に貢献することを目的とする。この目的に向けて優れた学校教員を養成し、教育分野で地域社会に役立つ人材を輩出し、我が国の教員の資質向上に貢献する使命を有する。

この使命を果たすため、次期学長には、教学及び経営の最高責任者として、次に掲げる資質・能力を持ち、本学が直面する課題を達成することが求められる。

1. 学長に求められる資質・能力

1. 学内外から信頼を得ることができる高潔な人格と優れた学識を有し、教育・研究活動を重視すること。
2. 本学のミッション（社会的使命）を確実に推進する戦略的な構想力と実行力を有すること。
3. 学内の円滑な合意形成を図りつつ、附属学校園も含めた教職員の意欲を喚起し、組織を効果的に活用する統率力（強いリーダーシップ）を有すること。
4. 大学の財政基盤の強化に努め、効率的な予算の編成・執行を着実に推進する優れた経営力を有すること。
5. 関係諸機関との協力関係を構築する協働力と、国立教員養成大学の存在意義を高める発信力を有すること。

2. 本学が達成すべき課題

1. 高い倫理観と優れた教育実践力を持つ教員を養成するとともに、高度な専門性など現職教員の職能向上に寄与する。
2. 京都府・京都市の教育委員会などと連携・協力し、とりわけ義務教育に関する教員養成機能の中心的役割を担いつつ、地域のニーズを踏まえて現職教員の職能向上支援機能を担う。
3. 連合教職大学院と教育学研究科とを統合して新たな教職大学院に移行させ、京都の教師教育を牽引していく。
4. 厳しい財務状況と、人員削減による業務負担増加の中で、ミッションの達成に向けて創造的で前向きな経営を行う。
5. 第3期中期目標・計画を達成し総括する。および第4期中期計画期間に向けてビジョンを示し、中期目標・計画を策定し実施を推進する。

3. 学長選考手続き

令和元年8月9日	学長候補者選考基準の公表 学長選考実施要項の公表
令和元年9月17日～9月30日	推薦受付
令和元年10月1日～10月16日	推薦受付結果の公表 学長候補適任者の調査及び絞込み
令和元年10月17日～10月31日	絞込み結果の公表
令和元年10月18日～10月31日	所信表明書及び質問に対する回答書受付
令和元年11月1日～11月15日	所信表明書及び回答書の公表 意向投票の公示
令和元年11月18日	意向投票の実施 学長選考会議開催（学長候補者の決定）
令和元年11月19日以降	学長候補者の選考の結果，選考の理由及び過程の公表